

千葉県社保協通信

2016年度 No1 2016年 6月 20日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉セカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

戦争法と社会保障の拡充は相容れない

安倍政治 No!! いのちと暮らしを守る地域づくりへ

“憲法25条” 活かす共同 さらに

千葉県社保協 第22回定期総会

6月18日土曜日、千葉市内で開かれた千葉県社保協第22回定期総会には、11団体・9地域社保協42人が参加。1年間の活動を総括し、ひきつづき安全・安心の医療・介護を求める運動を前面に年金、保育、障害者福祉、生活保護などの課題に取り組み、いのちと暮らしを守る地域づくりのために憲法25条を活かす共同の運動をさらに広げる活動方針と新たな役員体制と予算を確認しました。



↑活動方針を提案する藤田まつ子事務局長（右）
村上雄一千葉土建副委員長と加瀬さやか保険医協会事務局長が議長を務めました。（左）

開会にあたって秋元稔事務局次長は「国が戦争への道を歩むとき必ず社会保障が削られる。自立・自助が求められ、貧困・格差が広がる下で主権者としての声をあげる社保協の運動の存在意義が問われるとき。キーワードは地域。地域社保協の発展を必ず」と強調しました。

つづいて、来賓として寺尾さとし日本共産党県会議員が連帯のあいさつ。「税金の取り方、使い方を変えて社会保障の充実へ。声をあげれば必ず変えられる。ともに力をあわせて参議院選挙をたたかう」決意を述べました。

討論では団体・地域から7人が発言。一段の通り一閉会にあたって斎藤実副会長は、「市民と野党の共同の力で安倍暴走政治NO!の審判を!かってない選挙を悔いなくたたおう」とあいさつしました。

●連帯のごあいさつ・メッセージ ありがとうございました

- *中央社会保障推進協議会
- *東京社会保障推進協議会
- *神奈川県社会保障推進協議会
- *山梨県社会保障推進協議会
- *群馬県社会保障推進協議会
- *NPO法人千葉県腎臓病協議会
- *千葉県母親連絡会
- *日本共産党 寺尾さとし県議会議員
- *社会民主党千葉県連合 小宮清子代表

●第1部では、日本在住のアメリカ人リラン・バクレー監督が、いわゆる「思いやり予算」の不条理と矛盾を鋭く、かつコミカルに問いかけたドキュメンタリー映画「ザ・思いやり」を上映。

1987年以来、6兆円を超える日本の税金が在日米軍家族のための住宅、学校、教会、銀行、ゴルフ場マクドナルド等の施設に使われ、電気、ガス、水道代は使い放題。さらに米兵の凶悪・暴行事件の賠償金にも使われているなんて・・・



●地域・団体からの発言●

- *若い人も高齢者も安心の年金制度を → 年金者組合千葉県本部 久保庄司さん
- *待機児解消、保育土確保、安心の保育制度を求めるとりくみ → 千葉県保育問題協議会 田島潤一さん
- *生きる権利としての生活保護制度を → 千葉県生活と健康を守る会連合会 小山真樹さん
- *介護現場の実態と安心の介護保障求めるとりくみの課題 → 千葉市社保協 石橋純さん
- *介護保険総合事業が始まった柏市の状況から見えるもの → 柏市社保協 新山晴美さん
- *「障害者を65歳で差別しないで」天海訴訟の意味 → 天海訴訟を支援する会 三橋恒夫さん
- *国保都道府県化に向けた自治体現場の動き → 自治労連千葉県本部 貫川 理さん